

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

コロナ対策を講じての盛岡さんさ踊りも今日で最終日となります。県内各地の夏祭り等も3年ぶりに開催されるというニュースをよく耳にします。「お祭り行きたい」と子どもたちにせがまれることや、「友達とお祭り行ってくる」と言われることもある今日この頃ではないでしょうか。

我が家の娘もその一人。「浴衣で友達とお祭りに行くことになった」と娘。浴衣で行くって簡単に言うけど、一人で浴衣の着付けができるのか!?!と思うとともに、ここ数年、コロナ禍で娘が浴衣を着ることもなかったのもので、着付けの小道具をどこにしまっていたか?という不安が頭をよぎりました。やるしかない!!と意を決し、着物を収納しているタンスを探すことにしました。小道具は、ほどなくして見つけることができましたが、探し物をしていると、懐かしさを覚えるものに出くわし、そのものに関わることを思い出したり、考えたりして、時間を忘れてしまうことがよくあります。今回は、「娘のために作った浴衣」でした。「手作り子ども浴衣でファッションショー」という企画に参加して作った浴衣でしたが、今、振り返っても素敵な企画だったと思います。その頃から、夏祭りの時には、浴衣を着ることが娘の当たり前になっていた気がします。

高校生にもなり、自分で着付けできるかも?!という気持ちが出てきたところで、先日、一緒に手順を確かめながら着付けの練習をしました。その時に「浴衣好きだわ。毎日でも着たい。今日、これ着て寝たい」と娘が言うのを聞いて、小さい頃に体験したことが、その後の人生を豊かにするのかもしれないと思いました。

最近、親が子どものために様々な場所に連れて行って楽しい思い出をたくさん作ったと思っても、成長した子どもにその時の記憶がほとんどないことにはがっかりすることがありました。小さい頃にあちこち連れて行くことはあまり意味がないのかもしれないと考えることもありましたが、そうではないということに気付かされた出来事でした。

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】<https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★